

第2学年 生活科学学習指導案

日時 平成28年6月23日
場所 低多目的室
授業者 ○○ ○○

1 単元名

「どきどき わくわく 町たんけん」

2 単元について

内容(3)「地域と生活」

自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

内容構成の具体的な視点

- | | |
|--------------|----------|
| ア 健康で安全な生活 | |
| イ 身近な人々との接し方 | ウ 地域への愛着 |
| エ 公共の意識とマナー | カ 情報と交流 |

本単元では、身近な地域に出かけ、さまざまな場所を調べたり、地域の場所や人との関わりを広げたりするとともに、地域に親しみをもち、人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりすることができるようにすることを目指している。

3 児童の実態

自分の興味のあることや、「楽しそう。面白そう。」と思った事には、意欲的に取り組み、活動を進めることができる児童が多い。

「大きくなあれ わたしの野さい」の学習では、自分が育てたい野菜を植え、水やりをして大切に育てている。自分が心を込めて世話をしている野菜の生長を観察カードに記録する活動を繰り返し行ってきた。葉や花の色や形をよく見て絵にかいたり、苗の高さや葉の大きさなどをものさしではかたりして記録してきた。その観察カードを見せながら交流する活動を通して、野菜は種類によって葉や花の色や形、大きさが異なることや、どの野菜も、花がさいたところに実ができることに気付くことができた。また、家の人に聞いたり、これまでの経験などから、トマトはわき芽を取ると実が大きく育つことや、きゅうりはつるが巻きやすいように支柱を立てたりする必要があることなどにも気付くことができた。

本単元では、それぞれが住んでいる地域のひみつや自慢の場所を交流することからスタートし、駅前商店街で生活したり働いたりしている人々の姿を見たり話を聞いたりして、地域には様々な仕事があり、それぞれに携わっている人たちがいることに気付いてほしいと考えた。子ども達には、「松本屋さんで、体操服や黄色のランドセルカバーを買ったよ。」「田中肉屋さんに行ったことあるよ。」などという経験はあるものの、ふとん屋さんや自転車屋さんとはあまり関わりがなく、どんなものが売られていてどんな仕事をしているのか、よく知らない子が多い。また、店には物が売られているだけで、配達や修理の仕事については、気付いていない子も多いと考えられる。そこで、町たんけんを通して、それぞれの店で売っている物や仕事内容を知り、地域の人の生活が便利になるようにしていることに気付くのではないかと考える。

4 研究にかかわって

自ら考え仲間と学び合う子の育成
～ 願いに向かって生き生きと活動し、
気付きの質を高める生活科学学習～

研究内容1 教材化の在り方と単元構成の工夫 意欲的に対象と関わることができる教材開発

町たんけんの単元では、次の2点を大切に、1学期と2学期にそれぞれ探検にでかける。1つ目は児童の「知りたい。」「仲良くなりたい。」という意欲や願いを引き出す探検を設定すること。2つ目は、普段の生活の中では気付きにくい、地域には児童の生活と関わりが深い場所や人があり、それに気付かせることである。このような視点から、本単元では、養基小学校の近くで児童との関わりが深い駅前の6店舗を探検先を選ぶことにより、児童が意欲的に関わり、主体的に学習できるようにしたいと考えた。

研究内容2 学習活動の工夫

児童の願いが明確になる導入の工夫

本単元では、活動の出口を「町たんけんの発表会」とし、活動計画を児童とともに話し合っただけで決めた。その発表会に向けて、毎時間の活動がどのように位置付けられているのかを児童が理解し、見通しをもって活動できるようにした。また、児童が探検したい場所ごとにグループを作り、見学することや質問することを主体的に計画を立てられるようにした。発表方法も児童の願いをもとに決めることにより、意欲的に活動できるようにした。

気付きの質が高まる活動の工夫

今回の探検では、6カ所の探検先を3つの班に分け、2グループずつがペアとなって一緒に探検する。発表に向けての準備の中でペア交流を行い、発表を聞き合っただけでよさやアドバイスを伝え合う活動を位置付けた。発表を聞くグループも一緒に探検していることから、自分達が発表する店と比べることにより、店の工夫を見付けたり、より分かりやすく表現する方法を教え合ったりすることが期待できると考える。

研究内容3 評価と指導・援助

一人一人の学習状況に応じた言葉かけの工夫

ペアグループ交流の前に、発表を聞く視点の「わかりやすさ」や他のグループに知らせたい「ひみつ」などがあることを示す。また、話し合いが停滞しているグループには、ペア交流でのアドバイスを想起できるように声をかけ、発表内容を改善してしていけるようにしたい。

児童が自らの成長に気付く自己評価と見届けの工夫

「はっけんマン」「がんばりマン」の自己評価はもちろんのこと、互いのよさを相互評価し、活動を通して集団の中の自分の存在や、「○○さんのアドバイスで、分かりやすい新聞ができた。」など仲間とのかかわりにも気付くことができるようにしたい。

5 単元構成表

	関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
単元の目標	身近な地域の人々や様々な場所に関心をもち、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて、進んで見たり、調べたりすることができる。	行きたい場所や会ってみたい人を決め、相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、活動の計画を立てて、まち探検をするとともに、それを振り返って、素直に表現することができる。	地域には様々な場所があり、多様な人々が働いたり生活したりしていることと、彼らが自分たちの生活を支えていることや楽しくしていることに気付くことができる。
評価規準	・身近な地域の人々やさまざまな場所に関心をもちカードに書いて紹介しようとしている。 ・まち探検の計画を立て準備をしようとしている。 ・探検する人や場所に関心をもち、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて見たり調べたりしようとしている。	・自分がこれまでに関わった地域の人や場所の中から、友達に知らせたいことを考えたりして、ともだちに紹介し合っている。 ・行きたい場所や会ってみたい人を決め、相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、探検の計画を立て、探検をしている。 ・探検する内容として大切なことを落とさずに記録カードに記入している。 ・探検したことを振り返り、友だちと伝え合いたいことを相談して決め、適切な伝え方を選んだり、改善したりして伝え合っている。	・探検した店が自分の生活とかわっていることに気付いている。 ・地域には様々な場所があり、多様な人々が生活したり、様々な仕事に携わっていることに気付いている。 ・地域には、いろいろな店があり、生活したり働いたりしていることが分かり、自分達の生活と関わっていることに気付いている。

--	--	--

気付けさせたい内容	活動内容	具体的な視点
自分がこれまでに関わった地域の人や場所には、すてきなところがたくさんある。 春と初夏では、自然の様子が少し違う。季節によって自然や人々の生活の様子が変わっていくのだな。 自分の住む地域以外にあるものや地域の人々にも、すてきなところがたくさんある。 地域には、すてきな場所や人々があり、それらは自分の生活とかわっている。	自分のお気に入りの場所や興味のあること、知っていること、ふしぎなことなどをカードに書き、自分と地域との関わりを紹介し合う。 揖斐駅周辺の商店や公共施設を、友達と、安全に気を付けて探検に行くためのルールやマナーを話し合い、探検の計画を立てて準備する。 グループごとに探検にでかけ、友達と協力しながら地域の人にインタビューしたり、店や施設にある物を調べたりする。 探検を振り返り、探検した場所や出会った人について、新しく知ったことや感じたことを友達と伝え合う準備をする。 探検を振り返り、探検した場所やそこにいる人について、驚いたことや感じた子とを別のグループの友達と伝え合う。	ウ) 地域への愛着 自分の住む地域に親しみをもつ。 ア) 健康で安全な生活 安全に気を付けてみんなで探検をする。 エ) 公共の意識とマナー 探検の約束を決める。 ア) 健康で安全な生活 イ) 身近な人々との接し方 礼儀正しく、心を込めて挨拶や見学、質問をする。 カ) 情報と交流 探検で発表したことを分かりやすく伝える。 ウ) 地域への愛着 養基の町や人に親しみをもつ。

< 単元後の児童の意識 > 私たちの町にはすてきな場所や人がたくさんいるよ。養基って本当にすてきな町だな。もっと、町の人と仲良くなりたいな。
--

6 単元指導計画

過程	時	ねらい	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助 評 価 規 準
つかむ	1	自分のお気に入りの場所や興味のあること、知っていることなど、自分と地域との関わりを紹介し合うことを通し、身近な地域に関心をもち、探検への意欲をもつことができる。	やぎの町のすてきをおしえよう。 - 自分の住んでいる地域のすてきなところを話し合う。 - 自分の見つけた「すてき」をカードに書く。 - それぞれが見つけた「すてき」を交流する。 「すてき」の交流をもとに、「まちたんけん」に行くことを確認し、「○○に行きたい。」「を見たい。」という願いをもつ。	・児童の住んでいる地域には何があるかを把握しておき、指導に生かす。 ・積極的に紹介しようとしている児童を紹介し、価値付ける。身近な地域の人々や様々な場所に関心をもち、カードに書いて紹介しようとしている。 (関心・意欲・態度) 自分がこれまでに関わった地域の人や場所の中から、友達に知らせたいことを選んだり、ふしぎに思っていることを考えたりして、友だちと紹介し合っている。 (思考・表現)
活動する	2 3	友達と、安全に気を付けて探検に行くためのルールやマナーを話し合い、探検の計画を立て、準備することができる。	町たんけんのけいかくをたてよう。 - 行きたい場所ごとにグループを作る。 「まちたんけんの」のマナーやルールを話し合い、約束を決める。 - 探検の道順や持ち物、見学したい物や聞きたいことなどを話し合い、カードに書く。 - 探検コース - 郵便局・肉のたなか - 杉原自転車・松本屋 - ヒラツカ電気・杉山ふとん店	・児童が興味をもった場所ごとにグループを作り、見学したい物や聞きたいことを考えて話し合うことで意欲の継続を図る。 ・探検に向けて、相手や場に応じたマナーや安全に行動するためのルールを自分たちで決める。 ・進んで地域の人に挨拶やインタビューができるように、話し方の練習をして、自信をもたせる。 友達と相談して、行きたい場所を決めたり、相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えたりしながら、探検の計画を立てている。(思考・表現)
る	4 5	グループごとに探検にでかけ、友達と協力しながら、お店にあるものを調べたり、インタビューをしたりして、地域のことがわかるとともに、自分の生活とかかわっていることに気付くことができる。	町たんけんをして、町のすてきを見つけよう。 - 願いを確かめ合う。 - 安全を確認してから、探検に出発する。 - 揖斐駅前の郵便局や商店を見学したり質問したりして、地域の人や場所と関わる。 - 見つけたことや聞いたこと、気付いたことなどを記録カードに書き、友達と伝え合う。	・探検する所に、児童の願いやインタビュー内容などを伝えて、協力をお願いしておく。 ・探検先6箇所を3つのに分け、ペアグループで見学する。 探検する所に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、ルールやマナーを守って探検をしている。(思考・表現) 探検した店が自分の生活とかかわっていることに気付いている。 (気付き)

過程	時	ねらい	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助 評 価 規 準
深 め る ・ 振 り 返 る	6	見てきたことや聞いてきたことをもとに発表の準備をする活動を通して、ペアグループへアドバイスしたりアドバイスを受けたったりして、より分かりやすい発表を考えることができる。	町たんけんではっけんしたことを、はっぴょうするじゅんびをしよう。	・ 探検した所のことを分かりやすく伝える方法を工夫させたり、必要に応じて助言して表現の幅を広げる。
	7		1. グループごとに、探検で見つけたことや聞いたこと、気付いたことなどを発表する。 2. 見付けたことの中で、いちばん伝えたいことを決めて、ポスターや新聞などにする。 3. グループ内で発表し合い、よさやアドバイスを伝え合う。 4. 活動を振り返る。	探検で見付けたことの中から、友達に伝えたいことを相談して選び、グループの友達と伝え合っている。（思考・表現）
	8 本 時		1. 課題を確かめ、活動の見通しをもつ。 2. ペアグループで交流し、よさやアドバイスを伝え合う。 3. アドバイスをもとに、改善することをグループで話し合う。 4. 活動を振り返る。	・ 同じところを探検したペアグループの子からのアドバイスをもとに、より分かりやすい発表に改善できるようにする。 ペアグループへアドバイスしたり受けたったりして、よりより分かりやすい発表を考えている。（思考・表現）
	9		1. ペアグループの交流で教えてもらったことをもとに、改善することを確かめる。 2. 発表内容や資料や原稿を書き加えたりする。 3. 発表の練習をする。 4. 活動を振り返る。	・ 前時の交流を生かして、発表内容や発表方法を改善できるように、助言をする。 発表会に向けて、分かりやすく伝えることができるように、改善したり練習したりしている。（思考・表現）
	10	探検を振り返り、探検した場所や人について驚いたことや感じたことを友達と伝え合う活動を通して、地域には自分がかかわった場所や人以外にも様々な場所や人々がいることに気付くことができる。	町たんけんではっけんしたことを、はっぴょうしよう。	・ 発表者と聞く人の場所を決めておき、円滑に活動が行えるようにしておく。 ・ 感想や振り返りの累積により、活動の満足感や達成感が感じられるようにする。 探検で見つけたことを、友達と伝え合っている。（思考・表現） 地域には、いろいろな店があり、生活したり働いたりしていることが分かり、自分たちの生活と関わっていることに気付いている。（気付き）

7 本時のねらい

見てきたことや聞いてきたことをもとに発表の準備をする活動を通して、ペアグループへアドバイスしたりアドバイスを受けてたりして、より分かりやすい発表を考えることができる。

8 本時の展開 (8 / 1 0) 低多目的教室

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助
ねがいをもち活動する	1. 学習計画表から、本時の課題を確かめ、活動の見通しをもつ。 町たんけんではっけんしたことを、はっぴょうするじゅんぴをしよう。 今日は、ペアグループで発表を聞き合って、よいところを見つけて伝えたり、みんなが知らないお店のひみつや工夫についてアドバイスをしたりします。 2. ペアグループで発表を交流し、よさやアドバイスを伝え合う。	- 今回の探検では、店で売っているものや働いている人、店の工夫について調べて、ポスターやクイズなどにして発表することを活動の出口とする。 - 探検先を6店舗とし、4人前後でグループを作りさらにその中でペアを作って、発表の準備をしておく。 - 発表を聞く視点として、「わかりやすさ：絵・ことば・話し方」や「ひみつ：はっけん・おどろいた」などがあることを示しておく。 ペアグループへアドバイスしたり受けたりして、よりより分かりやすい発表を考えている。（思考・表現）
	3. アドバイスをもとに、改善することをグループで話し合う。	- より分かりやすく伝える方法を工夫させたり、必要に応じて助言したりして表現の幅を広げる。 - アドバイスを参考にしてより分かりやすい発表になるように、発表内容や発表方法をグループで話し合う。 - 改善したことは、絵などの資料は上から貼り替えたり、原稿は必要な部分を書き加えたりするように、簡単に活動できることを伝え、改善への抵抗を少なくする。 - ペアグループでの交流によって、改善が見られたグループを紹介して価値付けることで、気付きを広める。
	4. 活動を振り返り、めあてに対する評価(できた・まだまだ)をし、「がんばりマン・はっけんマン」で今日のがんばりを認め合う。 - ぼくは「がんばりマン」です。松本屋さんの試着室を発表するということを教えてあげました。 - 私は「はっけんマン」です。松本屋さんにはミシンがあって、養基保育園の園服を縫ったり、ズボンを短く直したりすることを初めて知りました。 5. 教師による評価をし、次時への意欲付けを行う。 - 絵や写真だけでなく、説明の文を加えると、もっと分かりやすくなりますね。 - 店では、物を売っているだけではなく、修理や配達もしていることなど、今まで知らなかったこともありましたね。 - 次の時間は、今日のアドバイスをもとに、もっと分かりやすく発表する準備をしようね。	「がんばった・はっけんした」の2つの観点で、自分の姿を振り返る。 - 教師が見つけたよい姿を紹介し、次時への意欲付けをする。